

【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳教育に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にある。
- ② 多様な価値観の、時に対立がある場合は、対立が大きくなるように、問題に触れないように振舞うことが、道徳教育で養うべき基本的資質である。
- ③ 道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。
- ④ 学校における道徳教育は、特別の教科である道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童（*生徒）の発達の段階を踏まえて行わなければならない。（*は、中学校、特別支援学校中学部）

1

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳科の目標の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、（ア）についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（*広い視野から）（イ）に考え、自己の（*人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、（ウ）と態度を育てる。

（*は、中学校、特別支援学校中学部）

- ① （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 実践意欲
- ② （ア） 道徳的諸価値 （イ） 総合的 （ウ） 論理的思考力
- ③ （ア） 人権 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力
- ④ （ア） 人権 （イ） 総合的 （ウ） 実践意欲
- ⑤ （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力

2

- (3) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉を付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、（*学年段階ごとの）指導の要点を示している。次のアとイはA B C Dのどの視点に分類されるものであるか、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- （*は、小学校、特別支援学校小学部）

ア [礼儀]

イ [伝統と文化の尊重, 国家や郷土を愛する態度]

項目

A 「主として自分自身に関すること」

B 「主として人との関わりに関すること」

C 「主として集団や社会との関わりに関すること」

D 「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」

① ア A イ B

② ア A イ C

③ ア B イ C

④ ア B イ D

⑤ ア C イ B

【2】衣生活に関する次の問いに答えよ。

(1) 世界各地には生活や文化的環境条件と密接に結びついた様々な民族服がある。その説明と該当する国名の組合せとして適切なものを①～⑧から選び、番号で答えよ。

	説 明	国名
(ア)	カフタンといい、チュニックのように円筒状にして着る民族服	ブータン
(イ)	サリーといい、1枚の布を体に巻きつけて着用する女性の民族服	インド
(ウ)	ポンチョといい、織物の真ん中の穴に頭を通して着用する女性の民族服	ペルー
(エ)	ゴージャスといい、日本の着物に似ている男性の民族服	トルコ
(オ)	キルトといい、腰に巻き付けてスカート状に着る男性の民族服	スコットランド

- ① (ア)・(イ) ② (ア)・(ウ) ③ (イ)・(エ) ④ (イ)・(オ)
 ⑤ (ウ)・(エ) ⑥ (ウ)・(オ) ⑦ (エ)・(オ) ⑧ (ア)・(オ)

4

(2) 毛の特色について説明した文章の(ア)～(オ)にあてはまる語句の組合せとして適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

毛の主成分はケラチンという(ア)である。規則的な縮れをもっているため、保温性に優れる。繊維表面は(イ)と呼ばれるうろこ状のもので覆われ、それが不規則に重なっているため、濡れた状態でもむと絡み合い、縮んでかたくなる。これを縮充性という。公定水分率は天然繊維の中で最も高く、そのため(ウ)に富み、しわになりにくい特性を持つ。しかし、引っ張り強度は弱く、(エ)により黄変し劣化し、また虫害も受けやすく、(オ)に弱いという短所があるため、衣服の管理には注意を必要とする。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	たんぱく質	スケール	吸水性	熱	酸
②	セルロース	コルテックス	吸湿性	紫外線	アルカリ
③	たんぱく質	コルテックス	吸水性	紫外線	酸
④	セルロース	スケール	吸湿性	熱	アルカリ
⑤	セルロース	コルテックス	吸水性	熱	酸
⑥	たんぱく質	スケール	吸湿性	紫外線	アルカリ

5

(3) 布の性能改善のために施される加工の種類と方法・特色について、組合せとして適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

	加工の種類	加工方法・特色
①	シルケット加工	薬剤を付着させて部分的に生地を薄くし、レースのようにする。
②	W&W加工	型崩れや縫いつれを防ぎ、アイロンかけの手間を省く。
③	透湿防水加工	水蒸気を通すが水をはじき、ぬれないという性能を与える。
④	オパール加工	綿布に光沢を与え、染色性が増す。

6

(4) 次の図は、JIS L0001による洗濯表示記号である。この記号が示す意味として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる。
- ② パークロロエチレン及び石油系溶剤によるウエットクリーニングができる。
- ③ 石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる。
- ④ パークロロエチレン及び石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる。
- ⑤ 弱い操作によるウエットクリーニングができる。

7

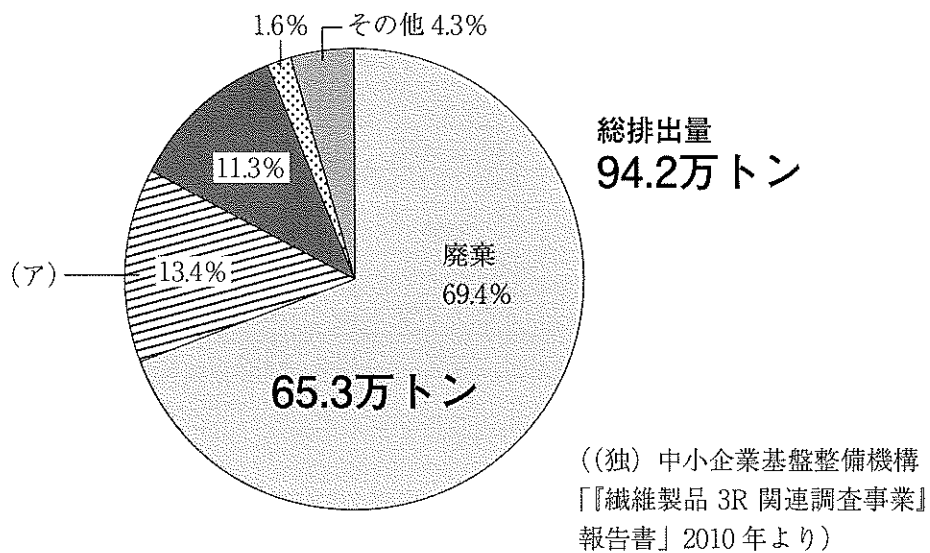
(5) 次の文に該当する防虫剤の種類は何か。適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

衣類を食べる虫には、イガ・コイガなどがある。家庭での予防や駆除には防虫剤を使うのが効果的である。この防虫剤は昇華しやすく、容器内に短時間で充満するため即効性があり、また、殺虫力が強い。

- ① 塩化カルシウム ② パラジクロロベンゼン ③ ナフタリン ④ ピレスロイド系
⑤ シリカゲル ⑥ しょうのう

8

(6) 次の図は、衣料品の廃棄率と廃棄量である。図中の(ア)はどのような方法をとっているか。適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。



- ① リユース ② リペア ③ リフューズ ④ リデュース

9

【3】食生活に関する次の問いに答えよ。

(1) 糖質の種類とそれを多く含む食品を示した次の表の(ア)～(カ)にあてはまる語句の組合せとして適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

分類	構成成分	多く含む食品
単糖類	ぶどう糖	果物
	果糖	果物・はちみつ
	(ア)	—
二糖類	麦芽糖	ぶどう糖+(イ)
	しょ糖	ぶどう糖+(ウ)
	乳糖	ぶどう糖+(ア)
多糖類	でんぷん	穀類・いも類
	(オ)	(カ)・しじみ

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
①	ガラクトース	アミロース	オリゴ糖	水あめ	グリセリン	こんにゃく
②	セルロース	アガロース	デキストリン	さとうきび	ミオグロビン	レバー
③	ガラクトース	ぶどう糖	果糖	水あめ	グリコーゲン	レバー
④	セルロース	アガロース	デキストリン	さとうきび	グリコーゲン	野菜
⑤	グルコマンナン	ぶどう糖	オリゴ糖	海藻	グリセリン	野菜
⑥	グルコマンナン	アミロース	果糖	海藻	ミオグロビン	こんにゃく

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、たんぱく質の栄養価について述べた組合せとして適切なものを①～⑦から選び、番号で答えよ。

(ア) たんぱく質は約20種類のアミノ酸から構成される。このうち、体内で合成できないアミノ酸の11種類を必須アミノ酸といい、食事で摂取する必要がある。

(イ) アミノ酸評定パターンは、人間にとって理想的な必須アミノ酸組成のことであり、WHOで定められている。

(ウ) たんぱく質の栄養的な価値は、必須アミノ酸の含有量を基にしたアミノ酸価で表され、肉や魚介、卵などの動物性たんぱく質は、米や麦などの植物性たんぱく質よりもアミノ酸価が高い。

(エ) アミノ酸価の低い食品も、不足するアミノ酸を多く含む食品と組合せて食べることにより、食事全体のアミノ酸価を高めることができる。これを正味たんぱく質利用率という。

(オ) 必須アミノ酸ではないが、成長期の子どもには、アルギニンが特に必要である。

① (ア)・(イ) ② (ア)・(ウ) ③ (イ)・(エ) ④ (ウ)・(エ)

⑤ (ウ)・(オ) ⑥ (ア)・(オ) ⑦ (イ)・(オ)

11

(3) 人体における水の構成と働きについて述べた文として、適切でないものを①～⑧から2つ選び、番号で答えよ。

① 水は人間の体重の約60%を占めるが、幼児は約70%、高齢者は約53%と年齢や性・体形などによって構成比は異なる。

② 水は、血液やリンパ液として、栄養素の運搬や老廃物の排出にかかわる。

③ 水は、体液の浸透圧を調整し、細胞の形態を維持している。

④ 成人は一日に必要な水分を食物と飲料水の2つから得ている。

⑤ からだの中で、脂質、たんぱく質などが酸化するときに出る水を代謝水といい、1日に約300ml作られている。

⑥ 水の排泄は、糞・尿のほか、人が感じることなく皮膚と肺から蒸発する不感蒸泄があり、入ってくる水より出ていく水の方が多い。

⑦ 汗をかくことで体温を一定に調整している。

⑧ 発熱や激しい運動をしたり、高温の室内にいて大量に汗をかくと脱水症になる。体内の水分の4%が失われると頭痛や吐き気の症状が起こる。

12

13

(5) 小麦粉に関する説明として、適切でないものの組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- (ア) 小麦粉のたんぱく質の主成分は、グルテニンとグリシンであり、水をこねるとグルテニンは弾性を、グリシンは粘性を生じ、これらが絡み合って、グルテンが形成される。
- (イ) 小麦粉は小麦の種子を粉砕し、胚乳部を分離したものである。小麦は米と同様に胚乳・胚芽・皮部からなるが、胚乳部がもろく、粒食には向かないため、ひいて小麦粉に加工される。
- (ウ) デュラムセモリナという小麦粉は、マカロニやスパゲッティに用いられ、強力粉よりたんぱく質含量が多い。
- (エ) 小麦粉は、含まれるたんぱく質の量によって用途が決められる。うどんに使われる小麦粉はたんぱく質含量が7～9%である。

- ① (ア)・(イ) ② (ア)・(ウ) ③ (ア)・(エ)
④ (イ)・(ウ) ⑤ (イ)・(エ) ⑥ (ウ)・(エ)

20

(6) 代表的な郷土料理とその都道府県名を表したものである。適切な組合せを①～⑦から選び、番号で答えよ。

- (ア) 皿鉢料理—高知県 (イ) がめ煮—新潟県
(ウ) きりたんぼ鍋—秋田県 (エ) さばのへしこ—福島県
(オ) のっぺい汁—佐賀県 (カ) 治部煮—石川県
(キ) 柿の葉寿司—岐阜県

- ① (ア)・(イ)・(ウ) ② (ア)・(エ)・(キ) ③ (イ)・(エ)・(キ)
④ (ウ)・(オ)・(カ) ⑤ (オ)・(カ)・(キ) ⑥ (ア)・(ウ)・(カ)
⑦ (イ)・(エ)・(オ)

21

【4】住生活に関する次の問いに答えよ。

(1) 伝統的な日本の住居について述べた文として、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 畳は長い方を縦とすると、縦横比が2：1であり、これを4畳半、6畳、8畳と敷き詰めて和室を構成している。
- ② 江戸間の1間は、京間の1間より大きい。
- ③ 畳の寸法は伝統的な日本家屋の基準として、そのまま押し入れや床の間、ふすまや障子の開口部分の寸法となっている。
- ④ 和室は用途が固定されず、用途変更が容易である。
- ⑤ 和室は四季の変化に応じて工夫することができ、飾りや調度をその場にふさわしいしつらいで四季を楽しむことができる。

22

(2) 湿気の多い6月から8月に最も多く発生し、電源プラグに周囲のほこりや湿気が付着することにより差し込み口から出火する現象を何というか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① フラッシュオーバー現象 ② 表面フラッシュ現象 ③ 収れん火災現象
- ④ トラッキング現象 ⑤ バックドラフト現象

23

(3) 寒さ暑さなどの住居の心地よさにかかわる事柄についてまとめた文として、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 人間の温冷感覚は、温度、湿度、気流、熱放射のほか、着衣の状況、身体の活動状況などの環境条件により変化する。
- ② おおむね快適な室温は、夏は25℃～28℃、冬は18℃～22℃、相対湿度は年間を通して40～60%とされている。
- ③ 暖房器具（放熱器）を窓際近くに置くと、窓側の冷たい空気が暖められ、床面と天井面との温度差が大きくなる。
- ④ 暖房器具（放熱器）で暖まった空気は軽く、天井面にとどまるため、冬季の室温では上下の温度差がしやすい。

24

(4) 日本の伝統的な住まい方の特徴について述べた文として、適切でないものの組み合わせを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (ア) 障子のような戸を引き戸といい、風の量を調整することができるという長所がある。
- (イ) ふすまは、閉めたときの気密性や遮音性がドアよりも優れている。
- (ウ) 部屋の外に張り出した板張りの空間を縁側という。
- (エ) 畳には、保温性と吸湿性がある。
- (オ) ひさしがあると、日光は部屋の中まで差し込むことはない。

- ① (ア)・(イ) ② (ア)・(ウ) ③ (ア)・(エ) ④ (ア)・(オ)
- ⑤ (イ)・(ウ) ⑥ (イ)・(エ) ⑦ (イ)・(オ) ⑧ (ウ)・(エ)
- ⑨ (ウ)・(オ) ⑩ (エ)・(オ)

25

【5】保育に関する次の問いに答えよ。

(1) 乳幼児期にみられる特性について述べた文として、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 幼児の描く最初の人物像は、頭から直接足が出ていて顔とみられる円の中に胴体を包みこんでいる。この未分化な像は幼児のボディイメージの投影とされ、世界中の幼児が文化の差を越えて描く。
- ② 大きな音などに両腕を広げ、抱きつくような動作をする。これは新生児の原始反射の一つでモロー反射といい、脳の発達に伴って徐々に見られなくなる。
- ③ 目の前にいない人や物に対するイメージを心の中で描くことを表象作用といい、そのイメージを記憶し、別の物で表現する働きを象徴機能と呼ぶ。この機能が発達してくると「構成遊び」が見られるようになる。
- ④ 生物と無生物を区別せず、活動しているものがすべて生きていると考える傾向にあり、これはアニミズムと呼ばれる。
- ⑤ 生後4～5か月頃に喃語と呼ばれる音を発し始め、1歳頃には一語文、1歳半過ぎには二語文、2歳以降は三語文以上、3～4歳頃には日常会話ができるようになる。

26

(2) 生活習慣について述べた文として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 基本的な生活習慣とは、食事、排せつ、睡眠、衣類の着脱衣の四つの行為のことである。これらは、いずれも家族や保育者などのかかわりの中で経験を通し習得されていくものである。
- ② 生活習慣とは、子どもが自立していく過程で求められる生活行動の形である。これは家庭や地域社会で互いが気持ちよく生活していくための共通ルールのようなもので、生活している社会環境による影響は受けない。
- ③ 子どもに基本的な生活習慣を確実に身に付けさせるためには、失敗させないように細かに手を貸し、保育者が正しい方向に導いていくことが大切である。
- ④ 生活習慣の定着には、発達段階に応じてほめたり励ましたりして子どもが自分でやりたいという意欲を育てることが大切である。
- ⑤ 社会的な生活習慣には、交通安全のルールなどの安全の習慣、人とあいさつができるなど対人関係の習慣の二つがある。

27

(3) 中学校で指導する幼児の心身の発達について述べた文として、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 心の発達については、言葉、認知、情緒、社会性について扱う。
- ② 運動機能の発達には、一定の方向と順序があり、体の中心から首、手先、足先の方向へ発達していく。
- ③ 幼児は成人と比べて呼吸数、脈拍数が多く、体温を調節する機能が未熟なため汗をかきやすい。
- ④ 体の発達については、身長は、1歳で生まれた時の約1.5倍、4歳では約2倍になり、体重は、1歳で生まれた時の約3倍、4歳では約5倍になる。

【6】 高齢者に関する次の問いに答えよ。

(1) わが国の現状について説明した文の (ア)・(イ)、および (ウ)・(エ) にあてはまる語句の組合せとして適切なものを①～⑥からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ・生活水準の向上や医療・公衆衛生の改善等によって、1947年に男性50.1歳、女性54.0歳であった平均寿命が、2020年では男性81.64歳、女性は87.74歳となり、日本は世界有数の長寿国となった。
- ・1人の女性が現在の出生パターンに従って出生した場合に期待される生涯出生率を (ア) というが、日本は2015年には1.45であったものはその後、(イ) 傾向となっている。
- ・総人口に占める65歳以上の高齢者の割合である高齢化率は、2007年には (ウ) を超えて超高齢社会になっている。今後さらに高齢化が進み、2050年には (エ) が高齢者になると予想されている。

	(ア)	(イ)
①	特殊出生率	減少
②	合計特殊出生率	増加
③	出産率	横ばい
④	特殊出生率	横ばい
⑤	出産率	増加
⑥	合計特殊出生率	減少

29

	(ウ)	(エ)
①	30%	2人に1人
②	21%	4人に1人
③	25%	3人に1人
④	25%	2人に1人
⑤	21%	3人に1人
⑥	30%	3人に1人

30

(2) 次の(ア)～(ウ)は、わが国の高齢期の生活を支える仕組みや法律・制度について述べたものである。その名称の組合せとして適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

(ア) 高齢期になり働くことが難しくなった時に、収入を保障する制度。20歳から60歳未満のすべての国民に納める義務があることが法律で定められている。10年以上納めることで65歳以上になれば生涯受け取ることができる。

(イ) 悪徳商法が多発し、高齢者が十分な判断ができず不要なものを購入したり、不利な条件で契約を行ったりする危険がないよう、判断能力が不十分な高齢者に代わり、財産に関する法律行為などを代理が行える制度。

(ウ) 可能な限り地域で生活を継続できるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が確保される体制のことで、高齢者に限らず、だれもが安心して生活できる地域づくりにつながるもの。

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	公的年金制度	高齢者虐待防止法	地域包括ケアシステム
②	介護保険制度	成年後見制度	ファミリー・サポート・センター
③	介護保険制度	高齢者虐待防止法	ファミリー・サポート・センター
④	公的年金制度	成年後見制度	地域包括ケアシステム
⑤	公的年金制度	成年後見制度	ファミリー・サポート・センター
⑥	介護保険制度	高齢者虐待防止法	地域包括ケアシステム

31

(3) 次の高齢者の心身の特徴について述べた文は、何について説明したものか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

国民生活基礎調査(平成28年)によると、高齢者の中で、病気や怪我などによって日常生活に支障のある人は約5分の1である。高齢者は病気や怪我などの治療が長期化すると、心身のほかの機能も低下し、寝たきりになりやすいといわれる。

- ① 認知症 ② ロコモティブシンドローム ③ 廃用症候群
 ④ 流動性知能 ⑤ メタボリックシンドローム

32

【7】 家族と福祉に関する次の問いに答えよ。

- (1) 社会保障について説明した文の (ア) ~ (ウ) にあてはまる語句の組合せとして適切なものを①~⑥から選び、番号で答えよ。

日本国憲法では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する」という (ア) を保障し、国が取り組むべきこととして社会福祉、社会保障、公衆衛生をあげている。個人の自助努力だけで対応が難しい場合には、社会保障制度を通じて安定した生活に導くのが社会保障である。この社会保障は、国民の安定を損なう事態への社会的安心装置としての (イ) をもち、高所得者から低所得者へ、現役世代から高齢世代に再配分して所得格差を縮小しようとする所得再配機能ももっている。

社会保障制度には、あらかじめ保険料を支払った人が集団でリスクを分担する社会保険と、税金を財源として国や自治体が現金やサービスを提供する (ウ) に分けられる。公的年金、医療・保険、子育て支援、生活保護などの所得保障、子どもや障がい者・高齢者を支援する社会サービス、雇用支援があり、広くは、公衆衛生、環境衛生・環境保全、住宅政策なども含まれる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
①	基本的人権	経済の安定機能	生活保護
②	生存権	経済の安定機能	生活保護
③	生存権	セーフティネット機能	社会扶助
④	基本的人権	経済の安定機能	社会扶助
⑤	生存権	セーフティネット機能	生活保護
⑥	基本的人権	セーフティネット機能	社会扶助

33

- (2) 次の文は、現代の家族の形について説明したものである。適切なものを①~④から選び、番号で答えよ。

- ① 拡大家族とは、「夫婦のみ」「夫婦と未婚の子供」「父親また母親とその未婚の子供」の世帯のこと。
- ② デュークスとは、共働きで意識的に子どもをつくらない、もたない夫婦やその生活観のこと。
- ③ ディンクスとは、結婚して子育てをしながら共働きを継続している夫婦（世帯）のこと。
- ④ ステップファミリーとは、前の結婚でできた子どもを連れて再婚することによってできる家族のこと。

34

(3) 子育てに関する社会的支援と子どもの権利と福祉に関する (ア) ~ (オ) の文について、適切でないものの組合せを①~⑥から選び、番号で答えよ。

(ア) 育児・介護休業法は、男女共に職業生活と家庭生活との両立が図れるよう支援することを目的に制定された。

(イ) 1951年に、「児童は人として尊ばれる。児童は社会の一員として重んぜられる。児童はよい環境の中で育てられる。」という理念を掲げ、児童福祉法が制定された。

(ウ) 1989年の国連総会で、生きる権利、保護される権利、育つ権利、参加する権利の4つの柱からなる「児童の権利に関する条約」が採択された。

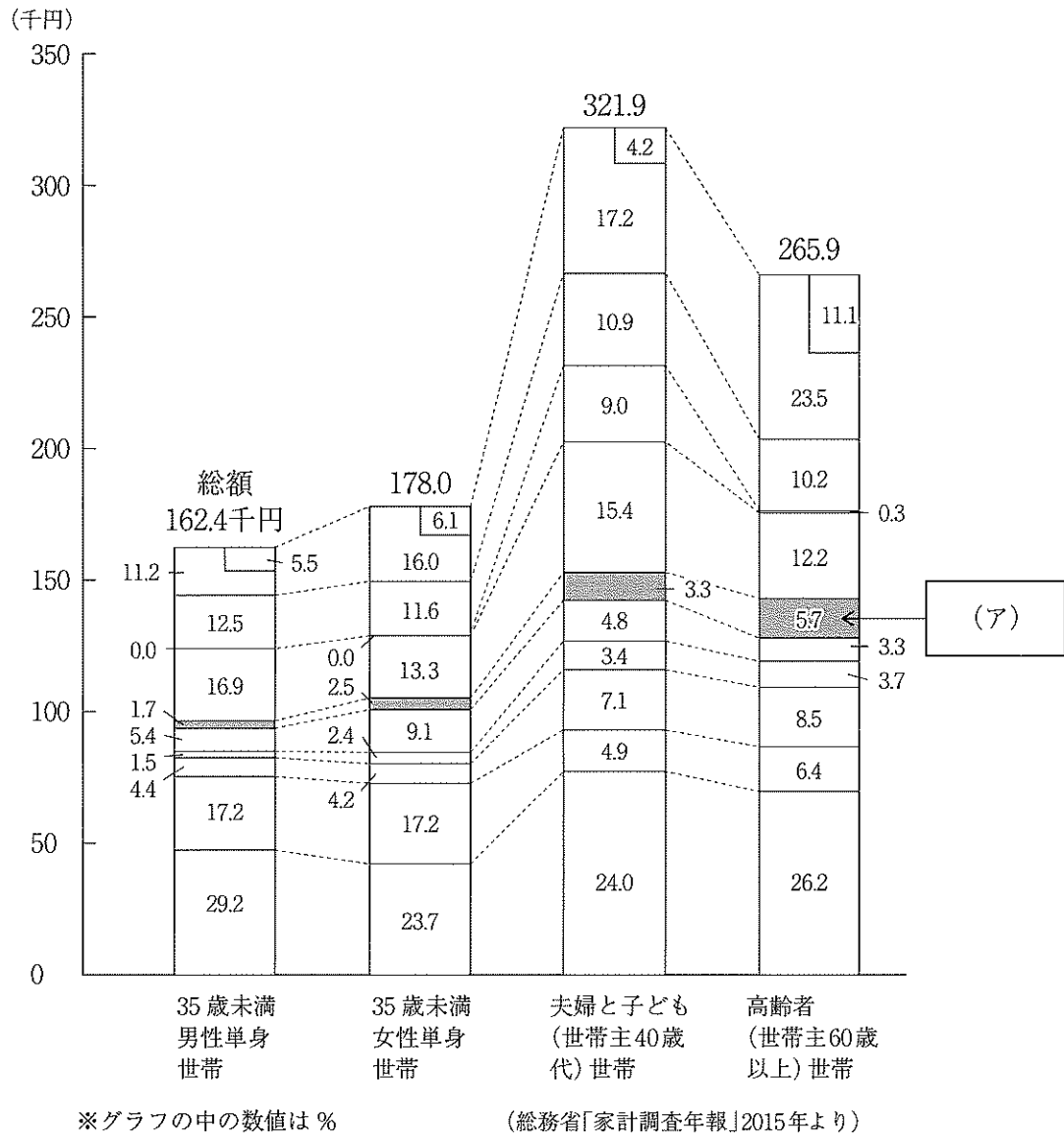
(エ) 児童相談所は、満16歳までの子どもに関する相談であれば、本人、家族、学校の先生、地域の人々が相談できる。

(オ) 日本における子どもの福祉は、1947年、全ての子どもが「生活を保障され、愛護されなければならない」と明記した児童憲章の宣言からはじまった。

- ① (ア)・(イ)・(ウ) ② (ア)・(ウ)・(オ) ③ (イ)・(ウ)・(エ)
④ (イ)・(ウ)・(オ) ⑤ (ウ)・(エ)・(オ) ⑥ (イ)・(エ)・(オ)

【8】 家庭経済・消費・環境に関する次の問いに答えよ。

(1) 次の図はライフステージ別に見た消費構造を示している。図中の(ア)は消費支出のうちの何か。適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。



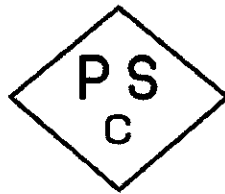
- ① 住居費 ② 食料費 ③ 光熱・水道費 ④ 保健医療費
- ⑤ 教育費 ⑥ 交通・通信費

(2) 金融商品の特徴についての説明として、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 投資信託は、運用がうまくいけば、預貯金以上の収益を得ることができるが、運用がうまくいかなければ元本割れすることがある。
- ② 株式投資や外国債は高い収益を上げる可能性を持っているが、元本割れが起こる可能性があり、安全性の低いハイリスク・ハイリターンの商品である。
- ③ 普通預金は、いつでも換金が可能で流動性は高いが、元本を割ることがある。
- ④ 普通預金は、安全性が高いが、金利によって増える額が小さく、収益性は低い。

37

(3) 次のマークを説明している文として適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。



- ① 「電気用品安全法」の基準に適合した、コード、電流制限器、電動式おもちゃ製品に付けられる。
- ② 製品安全協会が安全と認定した製品に付けられる。製品の欠陥による事故は、損害賠償が行われる。
- ③ 日本煙火協会の安全基準に適合した、国産や輸入おもちゃ花火に付けられる。
- ④ 「消費生活用製品安全法」の基準に適合した、乳幼児用ベッドなどの製品に付けられる。この表示マークのない製品は販売できない。
- ⑤ 「電気用品安全法」の基準に適合した、乗車用ヘルメット、家庭用圧力鍋などの製品に付けられる。
- ⑥ 「消費生活用製品安全法」に適合した、電気アイロン、電気掃除機、電気スタンドなどの製品に付けられ、このマークのない製品は販売できない。

38

(4) クーリング・オフ制度について説明している文として、適切でないものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① クーリング・オフ制度は、消費者契約法で定められている。
- ② 訪問販売で購入した場合には、クーリング・オフができる期間は8日間である。
- ③ クーリング・オフは、3,000円以上の契約でなければならない。
- ④ インターネットショッピングで購入した場合は、原則クーリング・オフができない。
- ⑤ 事業者に嘘を告げられて契約した場合には、その契約を取り消すことができる。
- ⑥ 営業所以外で契約した場合は、クーリング・オフができる。

39

(5) 消費者のトラブルを相談したり、解決したりする機関として公的機関でないものは次のうちのどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 消費者庁
- ② 法テラス
- ③ 国民生活センター
- ④ 弁護士会・司法書士会
- ⑤ 消費生活センター

40

(6) 悪質商法の一つであるアポイントメントセールスについて述べた文として、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① メールに記載されているURLをクリックすると、サイトへ接続されて利用料金が請求される。
- ② 街頭で「アンケートに答えてください」などと言って呼び止め、その場で勧誘したり、喫茶店や店舗、営業所等に連れ込んだりして商品を購入させる。
- ③ 「だれでも簡単に高収入が得られる」などと言って商品を購入させて会員にし、さらに「友達や知人を勧誘すると儲かる」などと言って、友人や知人を勧誘させる。
- ④ 電話等で「抽選に当たりました」などと言って喫茶店や店舗、営業所等に呼び出し、商品売りつける。
- ⑤ 注文していない商品を勝手に送り、代金を一方的に請求したり、代金引換郵便にしたりして支払わせる。

41

(7) 次の文は、持続可能な社会の実現のために消費者として考慮すべき行動について述べたものである。何について述べているか、適切なものを①～⑦から選び、番号で答えよ。

持続可能な社会の実現のため、地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した行動を行うこと。

- ① エコロジカル・フットプリント
- ② エシカル消費
- ③ カーボンフットプリント
- ④ バーチャルウォーター
- ⑤ ライフサイクルアセスメント
- ⑥ バーチャル・ランド
- ⑦ フードマイレージ

42

【9】 被服実習に関する次の問いに答えよ。

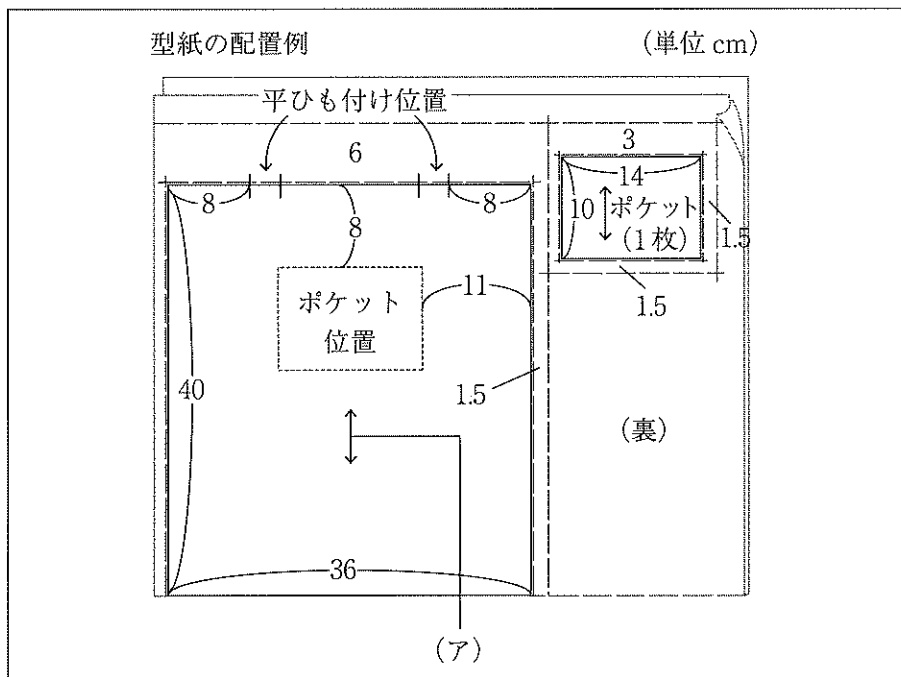
「生活を豊かにしよう一身の回りの布製品を作ろう」という題材で生徒に作品テーマを選ばせると、「A4版の書類が入れやすく落ちにくい、縫いやすくやや厚地の布地を使って丈夫なマルチバッグを作りたい。」という意見が多かった。この生徒たちの意見を踏まえて、次の問いに答えよ。

(1) 生徒が授業で製作するために、どの布地を用意したらよいか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ソフトデニム ② サテン ③ コーデュロイ ④ ギンガム ⑤ ブロード

43

(2) 型紙の(ア)は何を表しているか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 型紙をわにする。 ② 型紙を折る。 ③ 布のバイヤス方向に置く。
 ④ 布の縦方向に置く。 ⑤ 布の横方向に置く。

44

(3) マルチバッグを縫う手順として、最も適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア バッグ本体の口を三つ折りにして縫う。

イ バッグ本体の布を中表にして両わきを縫い、縫いしろを割る。丈夫にしたい場合、二度縫いをする。

ウ ポケット口は三つ折りにしてまつり縫いをし、残りの3辺は二つ折りにする。

エ 平ひもの端を1 cm折り、バッグの口に縫い付け、持ち手をつける。

オ 縫い目が表に出ないようにバッグの口の内側にスナップをつける。

カ ポケットをバッグの本体に縫い付ける。

キ 底の角を三角形に開いて縫い、まちを作る。

- ① イ→キ→ウ→カ→ア→エ→オ ② ウ→カ→イ→キ→ア→エ→オ
③ ウ→イ→キ→ア→エ→オ→カ ④ イ→ウ→カ→ア→エ→キ→オ
⑤ イ→ア→エ→オ→ウ→カ→キ ⑥ ウ→ア→イ→エ→キ→カ→オ

【10】調理実習に関する次の問いに答えよ。

今回の調理実習では、飯・あじの塩焼き・ほうれん草のごま和え・茶わん蒸しの献立で実習をすることにした。

(1) 左利きの生徒に、「あじの塩焼きを盛り付けたとき、美しく見えるようにするために下処理の跡が分からないようにするにはどうしたらよいか」と質問されたので手順を説明した。適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① あじはよく洗い、うろこを包丁で軽くとる。→尾の方から包丁を前後に動かしながらぜいごをこそぎ取る。→えらぶたを広げ、両面のえらをとる。→頭を右にして腹に切り込みを入れ内臓をとる。→流水で洗い、水気をふいて表面に切り込みを入れる。
- ② あじはよく洗い、うろこを包丁で軽くとる。→頭を左にして腹に切り込みを入れ内臓をとる。→尾の方から包丁を前後に動かしながらぜいごをとる。→えらぶたを広げ、両面のえらをとる。→流水で洗い、水気をふいて表面に切り込みを入れる。
- ③ あじはよく洗い、うろこを包丁で軽くとる。→えらぶたを広げ、片面のえらをとる。→頭を右にして腹に切り込みを入れ内臓をとる。→流水で洗い、水気をふいて表面に切り込みを入れる。
- ④ あじはよく洗い、うろこを包丁で軽くとる。→尾の方から包丁を前後に動かしながらぜいごをこそぎ取る。→えらぶたを広げ、両面のえらをとる。→頭を左にして腹に切り込みを入れ内臓をとる。→流水で洗い、水気をふいて表面に切り込みを入れる。

46

(2) ほうれん草のごま和えをつくる時、色よく、ごまの風味が残る仕上げにするための生徒への助言として適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

①	たっぷりの沸騰水に茎の方を先に入れ、ふきこぼれそうになったら、一度差し水をして1分ゆでましょう。
②	ゆでたら冷水を入れたボールにとり、しばらく放置して、ほうれん草の根元をそろえてよく絞りましょう。
③	たっぷりの熱湯に1%くらいの食塩を入れ、葉先から入れ、手早くゆでましょう。
④	しっかりごまの風味を残すために、ゆでたほうれん草をよく絞り、食べる直前に和えましょう。

47

(3) 生徒に「蒸す」という調理方法について理解させたい。その説明として適切でないものの組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。

ア 卵液を低温で長時間蒸すと、卵液中に含まれる微小な気泡により発生した水蒸気が入りこみ、気泡が大きくなってすだちが生ずる。

イ 「ゆでる」や「煮る」と異なり、食品は水蒸気の中で静置加熱されるため、料理の形が崩れにくく、茶わん蒸しなど成型を目的とした調理加熱に適している。

ウ 「煮る」調理と比べると、水溶性成分の損失が大きく、食品本来の味が保てない。

エ 「煮る」調理とは違い、加熱中に味付けすることが難しい。

オ 材料は、蒸気が上がってから蒸し器に入れ、蒸発による蒸し器内の水分量を確認する。途中で水が足りなくなったら、冷水を差し入れる。

カ 蒸し器を使用する場合には、蓋の内側に布巾をはさむと、水滴が食品に落ちない。

キ 茶わん蒸しを蒸す場合には、蒸し器内の温度を100℃に保ちながら、霧吹きや指し水で温度調整する。

① ア・イ・ウ・エ ② ア・ウ・オ・キ ③ イ・エ・カ・キ

④ ア・エ・オ・カ ⑤ ウ・エ・カ・キ ⑥ イ・ウ・オ・カ

48

(4) 実習後に提出されたノートを点検をすると、次のような記述があった。指導助言の必要があるものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

① まな板に魚のにおいがつくことが気になるので、まず、まな板を濡らし、布巾で水分をふき取り、さらに新聞紙を敷いて、魚の下処理をしました。

② ほうれん草を手早くゆで、栄養成分を流出させないようにするため、班で相談して鍋の蓋をしてゆでました。

③ 調理の始まる前に、においの少ない石鹸を使って爪の中、指と指の間、手の甲候、手首までしっかり洗いました。

④ 作業が混んできたので、短時間ですが、魚の横でほうれん草を切り、まな板を共用しました。その結果、時間通りにできました。

⑤ 茶わん蒸しを蒸すとき、蒸し器の温度を一定にするために、ふたをずらしながら温度調整をしました。

49

50

【11】「中学校学習指導要領」（平成29年3月 文部科学省）に関する次の問いに答えよ。

(1) 「中学校学習指導要領解説 技術・家庭編」（平成29年3月 文部科学省）にある家庭分野の「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」において、生活の営みに係る見方・考え方の観点から、よりよい生活を営むためにどのような視点を重視することが必要か。適切なものを①～⑥から2つ選び、番号で答えよ。

- ① 「A家族・家庭生活」では、生活文化の継承・創造の視点を重視する。
- ② 「B衣食住の生活」では、持続可能な社会の構築の視点を重視する。
- ③ 「C消費生活・環境」では、健康・快適・安全の視点を重視する。
- ④ 「A家族・家庭生活」では、協力・協働の視点を重視する。
- ⑤ 「C消費生活・環境」では、協力・協働の視点と社会のつながりの視点を重視する。
- ⑥ 「B衣食住の生活」では、健康・快適・安全の視点を重視する。

51	52
----	----

(2) 今回の改訂における内容構成について、学習指導要領では3つの考え方を示している。そのうち、学習過程を踏まえた育成する資質・能力の明確化について、適切でないものを①～⑤から2つ選び、番号で答えよ。

- ① 「知識及び技能」
- ② 「思考力・判断力・表現力等」
- ③ 「協力・協働」
- ④ 「学びに向かう力・人間性等」
- ⑤ 「主体的に学習に取り組む態度」

53	54
----	----